

第 62 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第62回日本神経学会学術大会

大会長 高橋 良輔

副大会長 山田 正仁

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2021年5月19日（水）～22日（土）
「脳神経内科の使命 - 過去、現在、未来」をテーマとして、上の日程で開催致します。
2. 学術大会会場：国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
(正式住所：〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地)
3. 演題募集期間：2020年10月1日（木）正午～11月24日（火）正午
※現時点では、国内参加者には、口演発表、ポスター発表共に現地会場で発表していただく予定です
(誌上でのみの発表やWEB発表は予定しておりません)。
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。
※学生・研修医演題およびメディカルスタッフ演題も同時募集いたします。
※演題登録に関する詳細は、決定次第、大会ウェブサイト「演題募集」に掲載いたします。
4. お問い合わせ
【大会長校事務局】
京都大学大学院医学研究科臨床神経学（脳神経内科）
〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町 54
【日本神経学会事務局】
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階
TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931
jsn-secretariat@neurology-jp.org（学術大会担当）
【第 62 回学術大会運営事務局】
〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町 2-1-7 JR 西日本岡山支社ビル 1 階
株式会社日本旅行 コンベンショングループ内
TEL：086-259-5578 FAX：086-250-7682

一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

※現時点では、国内参加者には、口演発表、ポスター発表共に現地会場で発表していただく予定です（誌上でのみの発表やWEB発表は予定していません）。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
 2. 演題募集期間：2020年10月1日（木）正午～11月24日（火）正午
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。
 3. 演題要旨作成時の注意
 - (1) 演題の制限：1演者につき1題とします。但し、共同演者になることは差し支えありません。1施設から多数の申し込みも歓迎いたします。
 - (2) ご登録いただく項目
 - ◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）
※基本は、抄録の登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定です。
 - ◎発表形式区分：口演もしくはポスター
※現時点では、国内参加者には、口演発表、ポスター発表共に現地会場で発表していただく予定です（誌上でのみの発表やWEB発表は予定していません）。
 - ◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は20名以内
 - ◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は10機関以内
 - ◎演題名（日英）：日本語は全角40文字以内、英語は半角100文字以内
 - ◎抄録：
 - ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによって言語指定あり）
 - ・日本語は全角800文字以内、英語は半角1,600文字以内とします。
 - ・【目的】【方法】【結果】【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行はしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
 - ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】【方法】【結果】【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。
 - (3) 筆頭演者は本学会の正会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は、必ず日本神経学会HP「入会に際して」をご確認の上、「入会までの手順」に従って、演題登録締切の1週間前までに、入会手続き（入会申込書の送付、年会費の支払い）をお済ませください。入会手続きには1週間～2週間かかる場合がございますので、余裕を持ってお手続きください。演題登録締切の1週間前（2020年11月17日（火））までにご入会手続きが完了していない場合は、ご登録いただいた演題を不採択とさせていただきますので、ご了承ください。
- 日本神経学会事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階
 TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931
 （受付時間：平日10:00～17:00）
- (4) 応募演題の研究の内容により、厚生労働省等による倫理指針（臨床研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、ヒト幹細胞を用いる臨床研究など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」（https://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf）をご覧ください。承認の得られていない研究についての演題は、応募することができません。
 - (5) 応募演題は、演題を登録した時点において、未発表のものに限ります。他学会で既に発表済みの演題でも、論文発表されていなければ応募可能です（同一抄録は不可。タイトルの変更や症例の追加などで少し内容を発展させてあれば可）。
 - (6) 演題の査読を行いますので、抄録本文の中で筆頭演者の所属機関名、及び所属機関が明らかになるような記述や、筆頭演者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。

- (7) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。薬品の商品名は、使用禁止とします。
- (8) 薬品以外の商品名（HAL® など）を使用する場合には、必ず登録商標やトレードマークを表示方法に従って付記してください。ただし、登録商標やトレードマークは初出のみ付記し、繰り返しは不要です。
- (9) 症例数や実験に用いた動物の数などは、演題登録時点で実際に行った数値を記載してください。
- (10) 一例報告については原則認めません。但し、症候学的、学術的な面などから深く検討されているのであれば、審議の上、採択することがあります。
- (11) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (12) 演題登録締め切り後、査読委員が査読を行い、採否を決定します。応募演題の内容によっては、採択されない場合もありますが、ご了承ください。
- (13) 英文抄録は登録者が英語を母国語としない場合、原則としてネイティブスピーカーチェックを受けてから提出してください。英文が不完全であるために不採択とさせていただく場合がありますので、ご了承ください。
- (14) 第 62 回日本神経学会学術大会 最優秀演題賞を設けますので、応募希望の方は抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後 15 年未満とします。尚、最優秀演題賞への応募演題に関しては、英語での登録を推奨します。表彰式は、5 月 19 日（水）の全員懇親会で行います。
- (15) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので、注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また、学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。ご発表いただいた抄録は、学術大会後に「臨床神経学サプリメント号」（オンライン）に掲載されます。掲載ページには「臨床神経学 61 巻サプリメント号 S-○○」という頁数が付与されます。

尚、「臨床神経学」の投稿規程に基づき、掲載論文の複写、および転載等の二次的使用に関する許可の権限は日本神経学会に所属いたします。またこれによる使用料は日本神経学会に帰属するものとします。

一般演題で応募された先生の中から、海外からの演者との企画シンポジウムに採択させていただく場合がございます。その場合、日本語でご登録いただいた場合でも、英語での発表形式をプログラム委員会からお願いすることがございますので、ご了承ください。

4. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI と略す）」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄にて「ある」「ない」をご選択ください。「ある」の場合、演題登録後に日本神経学会ホームページの「倫理および利益相反に関する規程等」項目にある「別紙様式 3」をダウンロードしていただき、ご記入の上、以下の学会事務局担当者までメール添付もしくは郵送にて送付してください。

COI 提出締切：2020 年 12 月 7 日（月）必着

COI 自己申告書送付先 第 62 回大会 COI 受付係
〒 113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2 階
TEL：03-3815-1080 FAX:03-3815-1931
E-mail：jsn-abs@gol.com

尚、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上の学会事務局までお問合せください。

5. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている、7ケタの登録番号をもって、2021 年 2 月中旬頃より当サイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時等の通知はいたしませんので、必ず当サイトをご確認ください。発表形式も同時に掲載いたします。発表日の希望ならびに、決定

後の発表日時変更は承りません。筆頭演者ご自身が日程調整の上、ご発表いただきますようお願いいたします。

6. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。スクリーンの縦横比は3:4です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PCからの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USBメモリーまたはCD-R）での持ち込みとなります。但し動画がある場合にはご自身のPCをご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 発表資料の中に営利目的の企業や製品のロゴを入れないでください。
- (6) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時に利益相反開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (7) 学術大会国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいての口演スライドは必ず英語で作成してください。
- (8) 一般演題の口演発表時間は、一人当たり発表10分+質疑応答5分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

7. ポスター形式による発表方法

- (1) ポスターパネルは縦210 cm × 横90 cmの予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会運営事務局で用意いたします。演題名・氏名・所属は各自で20 cm × 70 cm 枠に横書きしてください。
- (2) ポスターは、要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は2~3 m離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が20 cm以上の大きさとタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) 動画URLのQRコードを提示したい場合は、ご自身でQRコードをご作成の上、ポスター内に印刷、または貼付してください。
- (4) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (5) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は、会場に用意いたします。
- (6) ポスター発表のスケジュール等は、演題採用通知発表後にご案内させていただきます。
- (7) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (8) 発表資料の中に営利目的の企業や製品のロゴを入れないでください。
- (9) 利益相反の有無に関わらず、ご発表時には利益相反開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (10) 学術大会国際化のため、できるだけ英語で作成するようお願いいたします。但し、英語セッションにおいてのポスターは必ず英語で作成してください。
- (11) 一般演題のポスター発表時間は、一人当たり発表5分+質疑応答2分、総合討論25分を予定しています。（プログラムの都合により若干変更する場合もございますのでご了承ください）

8. 日本神経学会 学術大会運営委員（50音順・敬称略）

青木 正志	阿部 康二	宇川 義一	加世田ゆみ子	楠 進	桑原 聡
下濱 俊	高橋 良輔	戸田 達史	服部 信孝		

9. 第62回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員（50音順・敬称略）

饗場 郁子	青木 正志	安藤 哲朗	五十嵐久佳	池内 健	和泉 唯信
岩田 淳	植木 美乃	植田 光晴	岡澤 均	岡田 洋平	岡野 栄之
小澤鉄太郎	小野寺 理	加世田ゆみ子	河合 真	北園 孝成	桑原 聡
駒井 清暢	近藤 誉之	齊藤 祐子	坂本 崇	佐竹 渉	三條 伸夫
重藤 寛史	清水 俊夫	清水 優子	杉江 和馬	鈴木 圭輔	鈴木 重明
関島 良樹	園生 雅弘	高嶋 博	高橋 牧郎	武田 篤	千葉 厚郎
富本 秀和	富山 誠彦	豊田 一則	中嶋 秀人	中原 仁	西山 和利
野寺 裕之	長谷川一子	長谷川泰弘	波田野 琢	花川 隆	花島 律子

樋口 真人	平澤 恵理	前田 哲也	松原 悦朗	松本 理器	宮地 隆史
村井 弘之	望月 秀樹	矢部 一郎	山門 穂高	山崎 亮	山田 正仁
山中 宏二	山野 嘉久	吉田 眞理	葛谷 聡 (事務局)		

10. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50音順・敬称略)

青木 正志	阿部 康二	小野寺 理	北川 一夫	吉良 潤一	葛谷 聡
古和 久典	神 一敬	砂田 芳秀	高嶋 博	富本 秀和	波田野 琢
服部 信孝	前田 哲也	山下 徹	山田 正仁		

各種企画のお知らせ

☒…英語セッション

1. 大会長講演 (5月20日(木)午後 予定) ☒
高橋 良輔 (京都大学大学院医学研究科臨床神経学 (脳神経内科))
2. 副大会長講演 (5月21日(金)午後 予定) ☒
山田 正仁 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳老化・神経病態学 (脳神経内科学))
3. Plenary Lecture (5月20日(木)午前 予定) ☒
柳沢 正史 (筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構)
4. Semi-Plenary Lecture (5月20日(木)午後 予定) ☒
Lucie Bruijn (Translational Medicine, EMEA at AveXis, Inc., USA)
5. Semi-Plenary Lecture (5月21日(金)午後 予定) ☒
Werner Poewe (Department of Neurology, Medical University of Innsbruck, Austria)
6. 特別講演 (5月21日(金)午後 予定)
上野 隆司 (医薬発明家)
7. 特別講演 (5月21日(金)午後 予定) ☒
Steven M. Greenberg (Massachusetts General Hospital / Harvard Medical School, USA)
8. 2020年度学会賞受賞者招待講演 (5月20日(木)午後 予定)
2020年度学会賞 (学術研究部門)
中森 雅之 (大阪大学医学系研究科神経内科学)
2020年度学会賞 (診療/教育部門)
砂田 芳秀 (川崎医科大学神経内科学)
山田 正仁 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)
9. Neuroscience Frontier Symposium／ホットトピックス／シンポジウム／ガイドラインコース等
【Neuroscience Frontier Symposium】
 - ・ Reassessment APOE4 in Alzheimer's disease ☒
 - ・ Structure and propagation of aggregated proteins ☒
 - ・ Motor neuron disease: revisiting the roles of RNA binding proteins and RNA metabolism in neurodegeneration ☒
 - ・ Frontiers of neuroscience and medicine accelerated by big data and AI ☒
 - ・ Coevolution of multimodal neuroimaging and biomarkers ☒

【ホットトピックス】

- ・ Interdisciplinary research between dementia and epilepsy [E]
- ・ Innovative management can bring bright future for Parkinson's disease [E]
- ・ New diagnostic and therapy strategies for PSP/CBD [E]
- ・ 運動失調症の克服に向けて
- ・ 脊髄症の神経障害メカニズムと創薬の可能性
- ・ New Frontiers in the Treatment of Epilepsy 2020 [E]
- ・ How to treat obstructive sleep apnea syndrome in older adults?—Missing treatment option for dementia— [E]
- ・ Strategy toward regenerative medicine in neurological disorders using stem cells—the current situation and issues [E]
- ・ 脳卒中・循環器病対策基本法のゴールイメージ
- ・ さまざまな神経症状に潜む自己抗体をめぐって

【シンポジウム】

- ・ 新時代の脳卒中診療における脳神経内科医の役割
- ・ 脳小血管病の新展開
- ・ 認知症の診断とバイオマーカーの最前線
- ・ Dyskinesia in Parkinson's Disease: Filling the Bedside-to-Bench Gap [E]
- ・ ジストニア発現の機序は何か？
- ・ 筋萎縮性側索硬化症における多系統変性と関連する臨床の諸問題
- ・ 液-液相分離の新展開
- ・ Increasing importance of autonomic neuroscience in multiple system atrophy [E]
- ・ 多発性硬化症：再発によらない進行への理解を深める
- ・ Cutting-edge advances in NMOSD and MOG-related disorders [E]
- ・ Disassemble “CIDP”! Reclassification of “CIDP” based on molecular autoimmune mechanism [E]
- ・ 見逃し厳禁！アミロイドーシスの早期診断と治療法の進歩
- ・ Novel molecular target drugs for MG: How should we use them? [E]
- ・ 筋疾患の治療開発を推進する基礎・臨床の両輪
- ・ 新型コロナウイルス感染症 COVID-19：脳神経内科医の課題と対策
- ・ 脳炎・髄膜炎克服に向けた診療アルゴリズムの構築：神経感染症と自己免疫性脳炎のクロストーク
- ・ プリオン病の創薬と早期診断
- ・ Will new migraine medications save migraine patients? [E]
- ・ RBD as a harbinger of synucleinopathy: update [E]
- ・ 集中治療後に発症する神経症候：Post Intensive Care Syndrome (PICS) と ICU-acquired weakness (ICUAW)
- ・ 最新の神経生理手法による神経疾患解析を考える
- ・ 本邦における神経疾患新規治療開発の最前線
- ・ Novel therapeutic approach for neurological disorders using stem cell biology and genetic modification [E]
- ・ 孤発性・家族性神経疾患のゲノム研究
- ・ 臨床への還元のための病理確定診断の重要性
- ・ 神経核内封入体病と類縁疾患 update
- ・ 次世代型難病医療体制に向けて脳神経内科医にできること
- ・ 新型コロナ感染症とリハビリテーション医療
- ・ 高次脳機能障害のトピックスと最新アプローチ
- ・ 世界のトップサイエンティストの男女共同参画
- ・ ESUS への探求～塞栓源検索と治療の新たな展開～
- ・ Novel therapeutic strategies against ischemic stroke from the perspective of neuro-glial-vascular unit [E]
- ・ 創薬を目指す認知症基盤研究の最前線
- ・ Selective vulnerability of alpha-synuclein-related neurodegeneration—beyond proteinopathy and propagation— [E]

- ・本態性振戦の臨床
- ・てんかん病態解明の学際的アプローチ：グリアとニューロンの理論と実データ
- ・開業でも大活躍，成功する脳神経内科のキャリアパス
- ・未来志向の働き方改革：10年後の脳神経内科診療に向けての5人の女性医師からの提言
- ・脳神経内科医が関わる災害医療の過去・現在・未来＝東日本大震災から10年，新型コロナウイルス感染症の中で＝
- ・Neurologic Specialty Board in the World
- ・国際化ー日本神経学会はどこを目指すのか？（国際対応委員会主催プログラム）
- ・脳神経内科における音楽療法の使命
- ・脳とスポーツ～身体活動における神経学の新たな役割～
- ・複雑系，AI，ビッグデータは，神経変性疾患の病態解明における missing link を解き明かすことが出来るのか？
- ・「基礎～臨床，学会横断シンポジウム」基礎の学会では今何が熱いか？
- 【新ガイドラインコース】
- ・遺伝子診断診療ガイドライン
- ・プリオン病診療ガイドライン
- ・筋強直性ジストロフィー診療ガイドライン
- 【歴史セッション】
- ・こんなにも面白い神経学の歴史

10. 教育コース

【一般教育コース】

- ・120分で分かる脳梗塞再灌流療法のすべて
- ・知っておかなければならない小児神経
- ・てんかん・意識障害の診かた～デジタル脳波を使いこなそう！
- ・片頭痛診療のルネッサンス
- ・目で診る Movement disorders の臨床
- ・ALSの人工呼吸器装着後の治療とケア
- ・多発性硬化症と視神経脊髄炎の最新の治療を学ぼう
- ・脳神経内科医に必要な脊椎脊髄疾患の診かた・考え方
- ・新しい筋疾患のガイドライン，筋強直性ジストロフィーと重症筋無力症診療ガイドラインのエッセンスと最近のトピックを学ぼう
- ・アクセプトされる論文の書き方
- ・とらえどころのない大脳皮質症状を病理からとらえなおす
- ・神経放射線科医からみた神経画像診断の Knack & Pitfall と新しい画像技術
- ・脳神経内科医が知っておきたい睡眠ポリグラフ検査（PSG）
- ・筋電図塾 in 京都
- ・30万人が支援を待つ高次脳機能障害
- ・誰でもわかる核酸医薬の基礎と臨床
- ・神経遺伝学入門：明日から使える臨床遺伝と遺伝カウンセリングの基礎知識
- ・脳神経内科臨床における失語症学の役割
- ・脳神経内科医に必要なニューロモニタリングの進歩

【学生・研修医向け教育コース】

- ・ライフスタイルに鍵あり！？科学的アプローチから認知症の予防，早期発見，治療，ケアを学ぼう！
- ・神経感染症を知る，診る，治す
- ・頭痛診療のお作法入門
- ・神経筋接合部疾患がわかる！
- ・医療面接と神経診察の基本－触れなくてもできる神経診察－

11. レクチャーマラソン
12. メディカルスタッフポスターセッション (5月21日(金)・22日(土) 予定)
13. 医学生・初期研修医セッション (5月22日(土) 予定)
14. 各種共催セミナー
15. 日本神経学会主催セミナー (事前登録制)
 - ・第18回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月19日(水) 午前・22日(土) 午後 予定)
 - ・第17回専門医育成教育セミナー (5月19日(水) 午前・午後 予定)
 - ・第8回メディカルスタッフ教育セミナー (5月22日(土) 午後 予定)